

三一新書 268

謀 略

大岡 野達 三秀 共著
崎 万 寿

三一書房

大 野 達 三
おお の たつ ぞう

1922年 生る

元 全官労中央委員

現在 日本政治構造研究会所属

専攻 心理学

「アメリカのスパイ謀略機関とその活動について」

その他官僚制・警察制度などの著述あり

現住所 東京都板橋区舟渡一の二七 木村方

岡 崎 万 寿 秀
おか ざき ま す ひで

1930年 生る

現在 日本政治構造研究会所属

専攻 政治学

『マルクス経済学辞典』（青木書店・執筆）

『戦後秘密警察の実態』（三一書房・共編）

ほかに日本軍国主義にかんする論文数篇

現住所 東京都武蔵野市吉祥寺二四八六

謀 略

定価 150円

1960年11月7日 第一版発行

著 者 © 大 野 達 三
岡 崎 万 寿 男

1960年

発 行 者 田 畑 弘

印 刷 所 明 文 舎 印 刷 株 式 会 社

製 本 所 株 式 会 社 兼 文 堂

発行所 株式会社 三 一 書 房

京都市左京区北白川西平井町24

電 話 京 都 (7) 3101. 3885

振 替 京 都 6403 番

東京都千代田区神田駿河台2の9

電 話 東 京 〇9581~5番

振 替 東 京 84160番

落丁・乱丁本はおとりかえいたします

三一新書 268

謀 略

大野達三・岡崎万寿秀 共著

三 一 書 房

この本を読まれる方へ

一九一六年、アメリカでは労働組合を中心とする反戦運動が、はげしいもり上りを示していました。ちょうど二年まえから、第一次世界大戦がはじまり、ドイツと英仏連合軍が、ヨーロッパでしのぎをけずっていた時です。アメリカの資本家階級は、主な利害をともしていた英仏を援助し、そして自ら植民地分割戦に参加するために、参戦を決意し、その時期をねらっていました。ところが、アメリカ国内の労働組合の賃金引上げ、八時間労働制の確立、参戦反対の要求はますますもり上る一方で、国内に戦争体制をしくことすら、きわめて困難なまま月日がたつてゆきました。資本家階級とその政府は、はじめは右翼をつかつて、参戦要求の集会やデモを全国的におこし、労働組合の反戦の闘争に対抗させようとした。だが、反戦のよびかけの方がますます一般国民をとらえ、右翼のデモの効果はほとんどありませんでした。

七月二二日、サンフランシスコで右翼が参戦デモを行っていたときです。突然その行進に爆弾が投げこまれ、九名死亡、四〇名負傷という大惨事がもち上りました。警察は直ちに、二名の犯人をとらえ、裁判所におくりました。二名の犯人の名前は、トム・ムーニーおよびウォー

レン・ビリングスといい、二人ともサンフランシスコ市電労働組合の幹部であり、また熱心な平和運動家でもありました。アメリカの参戦の可否をめぐる、右翼と組織労働者がはげしく対立していた時でしたから、右翼のデモに爆弾を投げこみ、その多数を殺傷したのは、これら二名の「社会主義者」だろうと人々が考えたのも無理がありません。警察は、はじめから狙いをもって、事件をこの二名の計画的犯行であるとデッチあげてゆきました。二名は無実を主張しましたが、裁判の結果、ムーニーは死刑、ビリングスは無期懲役を宣告されました。

この事件は、アメリカ全国に異様な衝撃をまきおこしました。ふくれ上る一方だった反戦運動は急速におとろえ、アメリカ政府は強引に参戦にふみきました。そして戦争がすすむにつれて、この事件によってまきちらされた労働組合にたいする国民の反感と恐怖心を利用して、各州、各都市でつぎつぎ反動立法が制定されました。労働組合は分裂させられ、組合の力は長いあいだ骨ぬきにされました。アメリカ国民は平和といっしょに、民主主義も失ってしまいました。

それから二三年もたった一九三九年、カリフォルニア州オルソン知事は、ムーニーとビリングスを釈放しました。二名の無実を闘いとるまでの経過は長い一巻の物語りとなります。二人は獄中から、この事件が謀略（フレイム・アップ）であり、自分たちは爆発事件の時、その現場にはいなかったことなどを、せっせと訴えつづけました。この手紙は、だんだんに数多くの人

たちの心を動かししました。そして二人の無罪を信ずる人たちのあいだで、二人の釈放を要求する運動が次第にひろがりました。遂に、ロバート・マイナーという画家が、非常な苦心のすえ、ムーニーが事件の当日、あるビルの屋上で夫人といっしょに撮ったというフィルムの中から、ムーニーのアリバイを発見したのです。注意ぶかく引伸されたフィルムには、新聞売子のもっていた新聞の日付とともに、事件発生時間とたいへん近い時刻をさしている、時計台がうつっていました。そうして事件のおこった七月二二日の同時刻には、ムーニーは事件現場にいたことはありえないという証拠が確認されたのであります。

このようにして、二三年におよぶ苦難な闘いによって、ムーニーとビリングスは、とうとう無実の罪をはらし、真実を愛して二人をまもりつづけた、多くの国民のもとへもどることができました。だが二三年の歴史の歯車は、だれもあとにもどすことはできません。アメリカの参戦によって流された数百万の尊い血潮も、また「死の商人」をボロもうけさせるために、苦しい戦時労働をたえてきたアメリカ労働者の汗水も、そしてムーニーとビリングスのかけがえない青春も、——それらを一体、だれがとりもどしてくれるのでしょうか？

これはムーニー・ビリングス事件とよばれる、アメリカでおきた有名な謀略事件の話です。私たちはムーニーとビリングスが、平和運動の熱心な活動家であるがゆえに謀略の犠牲となり、獄中から切々と真実を訴ったえているあたりを読んで、ちょうどいま、仙台高等裁判所で

差もどし審がすすめられている、松川事件の二〇人の被告たちの姿がほうふっとおもいだされます。また白鳥事件で今もなお、札幌の大通拘置所にとらえられ、八年のむごい独房生活によって、三七才の若さで、頭髮を半白にそめてしまった村上国治氏の不屈な笑顔を連想します。

ムーニーとビルングスが、無実を信じる多くのアメリカ国民にささえられ、ついに一枚の写真によって真実を立証していったように、松川の被告たちも「諏訪メモ」などの有力な証拠を武器として、真実とヒューマニズムに生きようとする日本国民の巾ひろい運動にまもられながら、いまでも勇敢にたたかっています。菅生事件では、二枚の写真を手がかりとして、とうとう真犯人であった現職警察官をあばきだしてしまいました。

さらに私たちは、アメリカがムーニー・ビルングス事件をきっかけとして、反戦運動をおさえ、第一次世界大戦に参戦していったように、この日本でも下山・松川事件等をつうじて国鉄をはじめとした労働者の首切が断行され、朝鮮戦争の準備ができあがっていったことを知っています。また白鳥・メーデー・菅生事件等によって、破防法がとおり、アメリカによる占領制度から、現在のような半ば従属したサンフランシスコ体制への移行を、いっそう容易にしていた事情を知っています。朝鮮戦争も、サンフランシスコ体制とよばれるアメリカに従属した日本の軍国主義化も、私たちふつうの国民の平和と民主主義を乱暴にふみにじるものでした。このように謀略は、アメリカなどのふるい物語りとしてだけでなく、現在の日本の私たちの

生活とも密接なつながりをもっていることがわかります。それにしても、「わたくしたちにもまた、子がいる、親がいる。妻がいる。五本の指のどれが欠けても痛いという、きょうだいがいる」(武田久)とうたう、気持のやさしい被告たちを、くらい牢獄におとし入れた本当の下手人は、いったい、どこの誰だったのでしょうか。そして私たちの平和への望みと、ささやかな生活のよろこびを、冷酷にうばいさろうとする謀略とは、はたしてどういふものでしょうか。

私たちは本書の全体をつうじて、謀略というものは、国家権力をにぎっている支配階級が、自己の政策を強行しようとするときに、これに抵抗する国民の団結を弱めたり、おしつぶしたりするためにちいる、卑劣な政治技術の一つであることを証明しようとしてつとめました。またそれは、国際的にみれば帝国主義が、社会主義諸国の「天馬空をゆく」発展と、地球をゆるがす民族独立運動のものすごい高揚にあわてふためき、これを妨害し、おしとどめようとする見にくい陰謀であることを立証しようとしてしました。そしてアメリカと日本のスパイ・謀略機関の実態を、容赦なくあばきだそうとしました。なぜならそれらの秘密機関は、アメリカ帝国主義と日本軍国主義の侵略と弾圧の政策を、闇にかくれて、もっとも活発に遂行している、平和の敵、国民の敵である、と思ったからです。

私たちは本書が、つぎの四つのことに役立つことを願っています。

① スパイ・謀略は、それになりたいする国民の経験と警戒心のないところをねらって、巧みにし

くまれるものです。したがってこれから私たちが、敵のスパイ・謀略から平和と民主主義をまもり、事前にその意図を粉砕していくためには、これまでの豊富な経験をしめくり、その教訓に学ぶ必要があります。実際にも私たちは、安保反対大統一行動のなかで、六月一五日から一八日にかけて国会周辺で岸政府が計画した謀略的意図を、事前に封殺することができました。松川事件や菅生事件やヒットラーの国会放火事件などの教訓を、充分くみとって警戒心をおこたらなかったためであります。

② 戦後の日本で、スパイ謀略事件の直接の犠牲となられた人びとは、いまでも全国に数えきれないほどたくさんいます。なかには現在もなお獄中や法廷で無実を叫びつづけている人も少なくありません。また涙をのんで泣き寝入りしている、不幸な犠牲者もいます。私たちはこれらの犠牲にたいして、これまで以上に強い支援の手をさしのべましょう。そのためには被告が無実であることを立証するだけでなく、すすんでその真犯人を追求し秘密機関の実態をできるだけ国民大衆のなかにバクロしていく必要があると思います。また今日まで固く口をつぐんでいる、かつて秘密機関の協力者であった人やその内情にくわしい人びとが、日本国民としての誇りと勇気をもって、一切の事情を国民のまえにあきらかにしてゆくよう、運動をひろげていかなければならないとおもいます。

③ U2機事件にみられるように、日本を基地として、ソ連・中国にたいしてさしむけられて

いるスパイ・謀略は、国際緊張をおり、戦争を挑発する危険な不信行為であります。したがってこれらの事実を、世界の平和勢力のまえに明らかにしてゆくことは、私たちの平和と民主主義に役立つばかりでなく、世界の人びとにたいする、私たちの当然のつとめであろうとおもいます。

④ スパイ・謀略が帝国主義の現代政治上、きわめて大きな比重を占めてきているにもかかわらず、これまで、日本の科学者はこの分野に眼をむけ、立ちいって調査し研究する作業を、ごく少数の研究者をのぞいては、ほとんどやっていない状態でした。私たちはこのような、権力の実態を常にさけてとおろうとする科学のあり方は、早く改めていかなければならないと思います。そしてスパイ・謀略のほんだいを、科学としてきびしく追究し、これと闘う指針としなければなりません。

以上の四つの目的に、本書がすこしでも役立ちうるならば、私たちにあって、こんなに嬉しいことはありません。

最後に、本書をまとめるにあたって、熱心に御協力をいただいたジャーナリスト、学者、各事件対策委員会、被告団、弁護団および革新政党、の方々に厚く御礼を申しあげます。とくに出版にさいしてかずかずの御迷惑をかけた、三一書房社長田畑弘氏に心から感謝の気持をつたえたいとおもいます。

なお本書は二部にわかれ、第一部は謀略事件の典型的な実例として下山事件をあつかい、第二部では多くのスパイ・謀略を分析して、その理論化に重点をおいています。だから理論的な問題から、スパイ・謀略を研究したい読者は、第二部から先によまれてもかまいません。本書は私たちの共同研究のいちおうの成果ですが、執筆は第一部および第二部第一章は大野が分担し、第二部の他の章は岡崎があたりました。

一九六〇年一〇月

大野 達三
岡崎 万寿秀

目次

この本を読まれる方へ 三

第一部 謀略の典型 一五

——下山鉄総裁の謀殺——

第一章 死体の確認 一七

死体は本当に下山鉄総裁のものか 自殺か他殺か 目撃者

第二章 誘拐 三三

なぜ三越に行ったのか 重要会議 さそいの手 二人の総裁

第三章 失神 四六

どこへつれていかれたか ハンカチーフの謎 「下山油」と

「下山染料」 下山氏はもう一度運ばれた

第四章 死体の運搬…………… 六

血のしたたり…………… 有蓋貨車…………… 山本機関士の死

第五章 謀殺犯人…………… 八

ある集団…………… 一九四九年…………… 戦争…………… 「彼」たち

第六章 自殺偽装の理由…………… 一〇〇

最大の謎…………… 抗争…………… 二つの真実…………… 秘密指令

第二部 謀略と政治…………… 一三

第七章 政治のなかの謀略…………… 一三

真犯人のこと…………… 犠牲者…………… 瞬間…………… 秘密機関…………… 事件・裁判・マスコミ

第八章 スパイの眼…………… 一四

黒いジェット機…………… 奇妙な国策…………… 教訓

第九章	西ドイツと日本		一七〇
	大陰謀	消えた人	猿芝居
			謀略基地
第一〇章	政治のうらがわ		二〇八
	ダイナマイト	一九五二年という年	手口の分析
	イ罪	類型化	スパ
第十一章	謀略と安保体制		二四五
	技術の発達	国際政治	安保条約とM S A協定
	調達協定とスパイ保護協定	むすび	スパイ
文献紹介			二六四

第一部 謀略の典型

——下山国鉄総裁の謀殺——